

# 平成27年度 事業報告

## 主な事業概要について

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

昨年の日本経済は新三本の矢への移行過程にあり、経済対策いわゆるアベノミクス効果が足踏み状態にあるなかで、一部においては好調な企業収益を維持しており、円安、株高基調が続いています。今年度こそその好循環が少しでも地方経済や建設業界に廻ってくることを期待、念願しておりました。

昨年度も口永良部島新岳の噴火や平成27年9月関東・東北豪雨によって鬼怒川や渋井川決壊によって、多くの尊い命と財産を失いました。このように常に油断することが出来ない我が国の自然環境の厳しさを改めて深く思い知るとともに、脆弱な国土に対する防災・減災事業による危機への備えや長年にわたって蓄積してきたインフラの老朽化対策など一刻の猶予を待たない社会資本の整備、充実によって、将来世代に安心、安全、安定した快適な住みよい地域社会を引き継いでいく責任を感じています。

当協会の活動としては、若年層入職促進のため平成13年から続けております建設技術講習会を岐阜工業高等学校、岐阜大学、岐阜総合学園高等学校の3校で実施しました。岐阜社会基盤研究所主催の自由討論会・意見交換会ではダム委員会の状況報告等を発表しました。

また、8月の設立記念日には各技術委員会より研究成果を発表することが出来ました。発表内容のテーマ選定は、効率的かつ有効な手段の提案・提言を行う公益機関としての役割を常に意識するものとなりました。

### トンネル技術委員会

#### 1. 活動方針

トンネルの維持修繕や環境問題及び新工法に関して調査研究を行い、県内業者の技術力向上を図る事と、適正工法の研究等を行い、トンネル施工に関してより質の高い社会資本整備・公共福祉の増進に寄与する事を目的としました。

#### 2. 活動内容

県内業者の技術力向上の為に、以下のような活動を行いました。

##### I. トンネル見学会の開催

技術発表会に先立ち、一般国道417号線横山・鶴見バイパス（仮称）横山トンネルの見学会を行いました。

## II. 技術発表会（当協会主催）への参加

『限られた施工ヤードでの仮設備の工夫』と題し、トンネル仮設備における工夫例の発表を行いました。

## III. 建設技術講習会への参加

岐阜県立岐阜工業高等学校 建設工学科1年生40名を対象に『社会基盤を支えるトンネル技術者』というテーマで講習を行いました。

## ダム技術委員会

### 1. 活動方針

本委員会はダム工事及び砂防堰堤工事に関する新技術・新工法・環境対策等の調査研究活動の実施、既存堰堤の維持、管理のあり方について、調査研究し会員相互の技術力向上を図る事を目的としました。

### 2. 活動内容

#### I. 技術発表会（当協会主催）への参加

「砂防堰堤の果たす役割」というテーマで、災害にあった既存砂防堰堤及び過去に試験施工した現場（中津川市加子母白谷）等の現地調査を継続し行いました。

（1）流木の捕捉、H鋼の変形、河道の浸食、（2）堆積土砂、流木の捕捉を踏まえた維持管理方法をまとめ、現況の把握を行なうとともに、砂防堰堤のスリット型堰堤への移行や今後の維持管理の問題点・委員会としての活動について発表しました。

#### II. 岐阜社会基盤研究所主催の討論会・発表会への参加

研究テーマ報告会では、「砂防堰堤の果たす役割」について報告を行いました。

研究報告会では、災害事例による既存砂防堰堤の現状やスリット型堰堤への移行及び今後の維持管理の問題点・委員会としての活動に

ついて発表しました。

### Ⅲ. 建設技術講習会への参加

平成28年1月29日、岐阜県立岐阜総合学園高等学校 環境テクノロジー学科2年生20名対象で、『環境にやさしいダム造り』というテーマで講習を行いました。この講習では環境をキーワードとして、過去の災害事例をとらえてダムの必要性、種類、施工中における環境配慮、また、ダム・堰堤の施工方法や種類について説明しました。当日は、多くの質問があり興味を持ってもらうことができました。

## 下水道技術委員会

### 1. 活動方針

近年、下水道施設の劣化が進み、耐震対策及び維持・修繕（更生）の課題が多い中、新技術等を採用した施工が県内企業にて出来るよう考案・研究し、技術力の向上を目的としました。

### 2. 活動内容

#### Ⅰ. 下水道の維持・修繕（更生）工事に関する施工方法の検討

管更生工法や各施設の修繕方法の情報収集を行い、新技術を研究し、技術力の向上を目指しました。

#### Ⅱ. 自然災害に対応した、下水道の検討

県内企業で出来る新技術（製品）の施工習得のため、情報収集を行い、研究し各委員の技術力向上を目指しました。

#### Ⅲ. 施工・製品の新技术の開拓

各講習会や展示会などに各委員が積極的に参加・取り組みを行い、有益な情報を取得し、研究テーマに活かしました。平成27年7月28日～31日に実施された下水道展（東京）に参加し新技術等の資料収集を行い、今後の研究に活用します。

#### IV. 建設技術講習会への参加

岐阜総合学園高等学校 環境テクノロジー系列 2年生20名対象で、『子孫に残そう美しい環境』というテーマでわかりやすく動画をまじえ講習を行いました。

#### V. 技術発表会（当協会主催）への参加

『下水道管の再構築(管更生工法)』の発表を行いました。

### 橋梁技術委員会

#### 1. 活動方針

県内建設企業の技術力向上を目指すと共に、会員相互のコミュニケーションをはかり、情報交換を密にして、発注者に対して技術力をアピールし、地域への貢献につながるように活動しています。また、「環境共生型簡易縦坑掘削システム」の実用化に向けて検討する活動をしました。

#### 2. 活動内容

##### I. 環境共生型簡易縦坑掘削システムの試験施工と分析

平成24年・平成26年の2回の試験施工を通して出た問題点の改善及び改修を行い、坑内無人化システムの実用性の検証をすることができました。また、深礎鉄筋組立の縦坑外での試験施工も実施し実用性の検証をすることができました。

##### II. 建設技術講習会への参加

岐阜大学 工学部 社会基盤工学科 3年生80名対象で、『橋梁とは！？』というテーマで講習を行いました。

##### III. 技術発表会（当協会主催）への参加

『環境共生型簡易立坑掘削システム』の発表を行いました。

## 自然共生技術委員会

### 1. 活動方針

自然共生技術委員会は、2つの活動を中心に実施してまいりました。

1つ目は近い将来建設業に携わる可能性のある学生を対象にした出前講習の「建設技術講習会」です。2つ目は近年の自然災害のリスクの高まり、治水と環境保全の両立の難しさ、環境保護に対する意識向上を図り、発注者への積極的な提言を行うべくテーマとした「環境に配慮した川づくりに関する調査研究」です。

### 2. 活動内容

#### I. 建設技術講習会への参加

岐阜県立岐阜工業高等学校 建設工学科1年生40名対象で『「地域を守る建設業」～防災と豊かな自然との共生のために～』というテーマで講習を行いました。高校生に対しわかりやすく、建設業が地域の安全や環境を守るため、大いに活躍している大切なやりがいのある仕事であることを強調して、建設業という進路を積極的に検討するように、講習を行ってまいりました。

#### II. 「環境に配慮した川づくりに関する調査研究」について調査・研究

災害復旧事業で多自然川づくりにおけるコンクリート護岸に取り組む際のガイドラインとして、国土交通省より平成26年3月に改定された「美しい山河を守る災害復旧基本方針」に対応した製品や事例の調査・研究をおこないました。

方針に対応した護岸ブロック製品の調査として平成27年5月27日に揖斐川工業株式会社アイケイ関工場で、伊藤技術課長さんより説明を受け工場見学を開催しました。そして、平成27年9月24日に伊自良川の完成工事現場において基本方針に対応した護岸ブロック製品で施工された河川の実態調査をしました。

#### III. 技術発表会（当協会主催）への参加

『環境に配慮した川づくりに関する調査研究』の発表を行いました。

## 安全・環境委員会

### 1. 活動方針

社会基盤整備・維持管理の担い手として、労働安全・環境の改善策の提案・指導、意識の向上及び自然環境問題への対応・改善を目的に活動致しました。

### 2. 活動内容

#### I. 安全・環境パトロールの実施

安全対策、省資源・省エネルギーへの取り組み、環境汚染の防止対策、自然環境への取り組み等をチェックシートに基づき指導・改善を行いました。

#### II. 合同安全講習会に参加

労働災害の防止についての研修を行いました。

#### III. 各種環境フォーラムへの参加研修

びわ湖環境ビジネスメッセ2015及び建設技術フェア2015 in 中部への研修会を実施し、安全・環境対策の知識向上を図りました

#### IV. 建設技術講習会への参加

岐阜大学 工学部 社会基盤工学科3年生70～80名対象に『現場における安全と環境に対する取組み』というテーマで、講習を行いました。

#### V. 技術発表会（当協会主催）への参加

『現場における安全と環境に対する取組み』の発表を行いました。

## 企画広報委員会

### 1. 活動方針

各委員会における研究・開発の成果を研修会等の企画・開催をすることにより建設産業の役割、地域の基盤整備に貢献・社会のニーズに応えるべく活動をしてまいりました。

また、公益法人としての事業目的の一つとして「学校関係者及び生徒に建設技術の素晴らしさを広く学ぶ機会を創出する」ことの趣旨に則り、各委員会における活動・研究の成果等を高校に講師を派遣し、建設技術講習会の開催をしました。

## 2. 活動内容

### I. 建設技術講習会の開催

- 1) 平成27年7月6日に岐阜県立岐阜工業高等学校建設工学科1年生40名対象に講習会を開催しました。
- 2) 平成27年11月24日に岐阜大学工学部社会基盤工学科3年生80名対象に講習会を開催しました。
- 3) 平成28年1月29日に岐阜県立岐阜総合学園高等学校総合学科環境テクノロジー系列2年生20名対象に講習会を開催しました。

### II. 自由討論会・意見交換会（岐阜社会基盤研究所主催）への参加

平成28年2月22日に岐阜大学サテライトキャンパスにおいて開催された自由討論会・意見交換会へ参加しました。

### III. 広報活動の実施

各委員会の活動を一般の方々へ広く知っていただくためにパンフレットの作成、自前のホームページの運用や当協会における活動・研究の成果などを岐阜県庁はじめ各土木事務所・農林事務所等を表敬訪問し、広報活動に努めました。

### VII. 技術発表会（当協会主催）への参加

平成27年8月7日にサンレイラ岐阜において開催された技術発表会へ参加しました。